

バス福島分会集会開催!

JR 総連柳書記長から貴重な講演をいただきました!



2018年6月25日(月)、バス福島分会集会にて、JR総連柳書記長からご講演をいただきました。今講演は「JR東労組18春闘について」6つの視点からお話しをいただき「18春闘敗北の要因分析」と脱退懇話が未だにあり「いつまで東労組にいるのか」「試験が受からない」などの言葉を掛けられた場合、はっきりと「生まれ変わったJR東労組と共に歩いていく事」の意思表示が大切、また「弱い労働者を守るため労働組合がある」、賃金、労働条件改善は、労働組合でなければ団体交渉は出来ない、36条協定の締結は社友会でも出来るが、実質「労働組合」ではないなど貴重なご講演でした。

「18春闘総括視点」

- ①6月13日JR東労組定期大会で「反省すべきは反省し再結集をしてたたかう」方針を確認した。
 - ②17春闘では、組合員一票投票を行い、ストの戦術行使と確立は別であると組合員に説明、18春闘ではスト戦術が続いていることを多くの組合員が知らなかった。
 - ③前委員長は、ストは昭和採で行い、平成採はスト破りをして乗務することの発言があり、矛盾していた。
 - ④17春闘での会社からの回答「ベアの実施は所定昇給額にこだわらない」を再度、18春闘で確認をし、スト権解除を行った。格差ベアの根絶になっていない。
 - ⑤組合員への嘘とごまかしがあった。
 - ⑥組合役員が、状況等に応えられない中、会社からは「社員の皆様へ」が掲示されていた現状から、組合よりも会社側の信用が強まった。
- 今後は、悪い事を悪いと認めるか、会社が悪いと言って開き直るか、資質が問われることなど、貴重なご講演をいただきました。



ご講演終了後、組織拡大の組合員、転勤者の歓迎会を「焼肉ハウスますや」において開催され、更なる親睦を深めました。